

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第24号は尾道北高等学校です。

令和2年9月3日（木）

尾道北高等学校 <http://www.onomichikita-h.hiroshima-c.ed.jp/>

## 生徒の思考を促す授業づくり

—アプリケーションソフト「MetaMoji」の活用を通して—

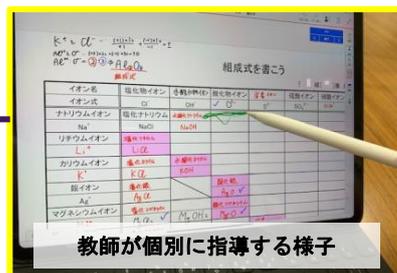
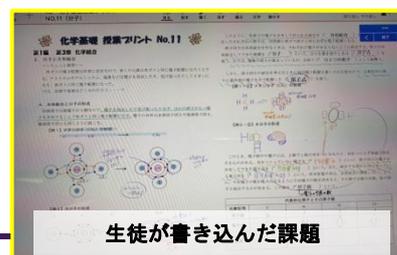
### 生徒の学習状況をリアルタイムで把握し、効果的なファシリテートの実施

○生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るため、1年生の化学基礎「化学結合」の授業（1人1台iPadを活用）等において、「MetaMoji」を活用しています。

【授業の目標】様々な物質の化学結合の特徴を説明できる。

【授業の流れ】

	生徒の学習活動	教師の支援
①	これまで学習した化学結合の内容についてICTも活用して関連する情報を収集する。	多面的に情報を収集させるために、化学結合に関するキーワードを複数挙げさせる。
②	既習事項や収集した情報をもとに、画面上で物質の電子配置について視覚的に分かりやすくまとめる。	収集した情報を分かりやすくまとめさせるために、生徒のよい表現等をリアルタイムで取り上げ、全体へ紹介する。
③	他の生徒の多様な考えを即座に確認することで、新たな発見を行う。	新たな発見を促すために、生徒の考えを画面上でタイプ別に色分けして分類し比較しやすくする。



## 新たな学校文化の創造

—生徒同士の「チューター制度」（学年を超えたグループ活動）の実施を通して—

### 生徒が相互に「つながる」しくみづくり

○変化の激しい社会において、多様な他者とつながり活躍する力の育成を目指し、今年度から、生徒同士の「チューター制度」を導入しています。学年を超えてグループを編成し、定期的（月に1回程度）に特別活動等において、上級生が下級生に学校生活や学習に関するアドバイスを行ったり学校行事の企画等を行ったりしています。

校長先生より

学年内の「横のつながり」は尾道北の伝統的な強みです。これに、学年を超えた「縦のつながり」を作ることで、認知スキルのみならず、コミュニケーション能力や協働する力、学校へ対する愛着心等を高める取組として、新たな伝統にしていきたいです。

